



玉高附中通信 WAKAGOMARU NO.35

5月12日(日)体育祭。天気にも恵まれ、無事に全競技日程を終えることができました。中学生、高校生がともに躍動した一日となりました。中学生の皆さんの感想をご紹介します。



3年間の中で一番忙しい体育祭だったが、一番楽しい体育祭だった。ダンスの練習だけでなく、小看板の作成など10連休の影響もあり、うまくいか不安だったが、お互いに協力し合うことでよいものに仕上げることができた。本番では、放送委員として実況を努めさせていただいたり、部活動リレーを楽しく走ったりと、良い経験をしたり、いい思い出を作ったりできて楽しかった。中学演舞では2位だったが、皆楽しく踊ることができてよかったと思う。(3年 原田さん)

私は体育祭を楽しく過ごすことができました。自分らの紅団(赤団)も演技で優勝したし、とてもいい体育祭でした。また、体育委員長として、全体を見てきました。しかし、迷惑をかけてばかりで、自分自身、後悔していることもあります。でも、いろいろな人に支えられて、とてもうれしかったという気持ちの方が大きかったです。一番の思いでは、自分の演技の前にやぐらの後ろで、高校の井上先輩から声をかけられたことです。それで、緊張もほぐれて、自分の最高の演技ができたと思います。高校生になっても体育委員長がしたいので、身近に触れることができてよかったです。

(3年 三宮くん)



私は、今回、蒼団(青団)の副団長をしました。「副団長」という役割は想像していたよりも大変で、昨年リーダーをしたときよりもはるかに過酷でした。蒼団はダンスが難しく、大まかな動きを覚えるだけで、とても時間がかかりました。リーダー同士でぶつかることも何度もありましたが、その都度話し合いを重ね、よりよいものになるように工夫しました。だからこそ、本番で一番いい演技ができたことが嬉しかったです。

優勝はできなかったけれど、それ以上に大切なものを学べたと思います。紅団、輝団(黄団)のみんな、蒼団の団員、リーダーそして団長。誰か一人でも欠けていたら成功できなかったと思います。皆に感謝したいです。最後の体育祭、蒼団でよかったです。(3年 比屋根さん)

体育祭では、小看板を描きました。細かいところに注意して、ていねいに作業することを工夫しました。最初は筆などの選び方や、ぬる方向がよく分からなかったのですが、先輩に教えてもらいながら頑張りました。

一つ一つの役目に誇りをもち、一生懸命にすることを学びました。自分のもつ役割に誇りをもつことで、より一層、気持ちがこもったものが完成すると思います。どんなものにも誇りをもつことを、今後も大切にしていこうと思います。(2年 怡土さん)



中学集団演技(応援団演舞)の優勝は紅団、中高合わせた総合優勝は輝団でした。閉会式では、お互いの健闘を称えあう姿がありました。中学生・高校生の素晴らしさです。企画・準備の段階から、生徒会執行部やリーダーを中心に取り組んできた大きな成果でした。2019.5.17 副校長 山部

「玉高附中通信WAKAGOMARU」は、玉名高校・玉名高校附属中学校ホームページに掲載しています。

URL : <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>